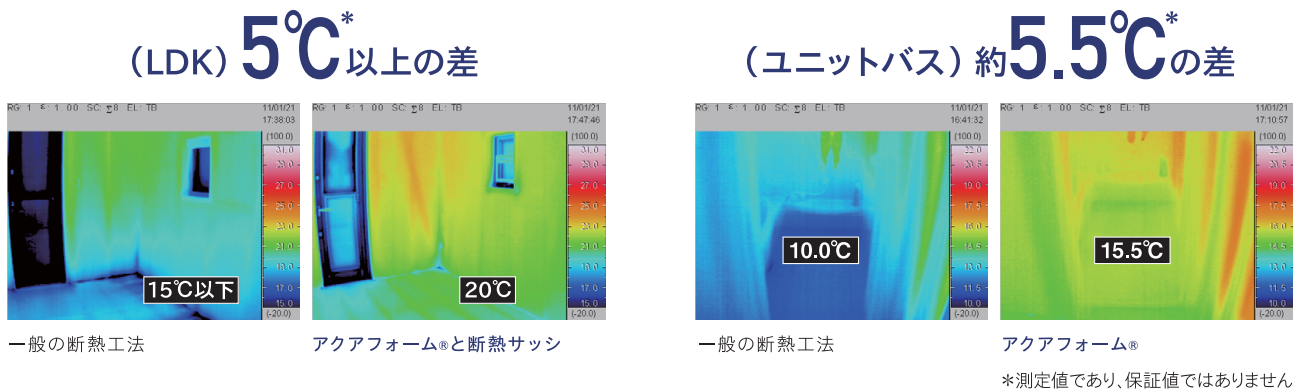
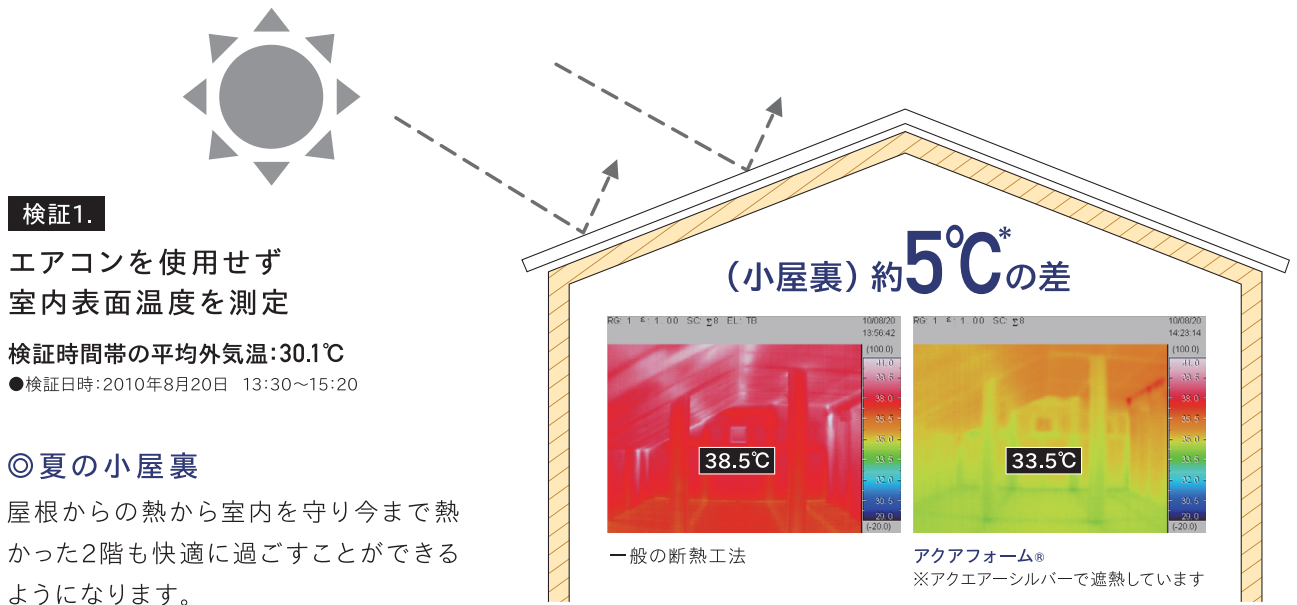


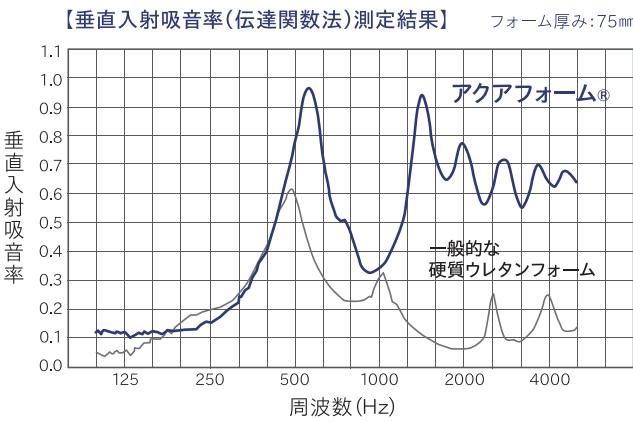
吹付け施工だから、隙間なく高断熱。 効果はデータで実証されています

高い断熱性能をサーモグラフィーで検証

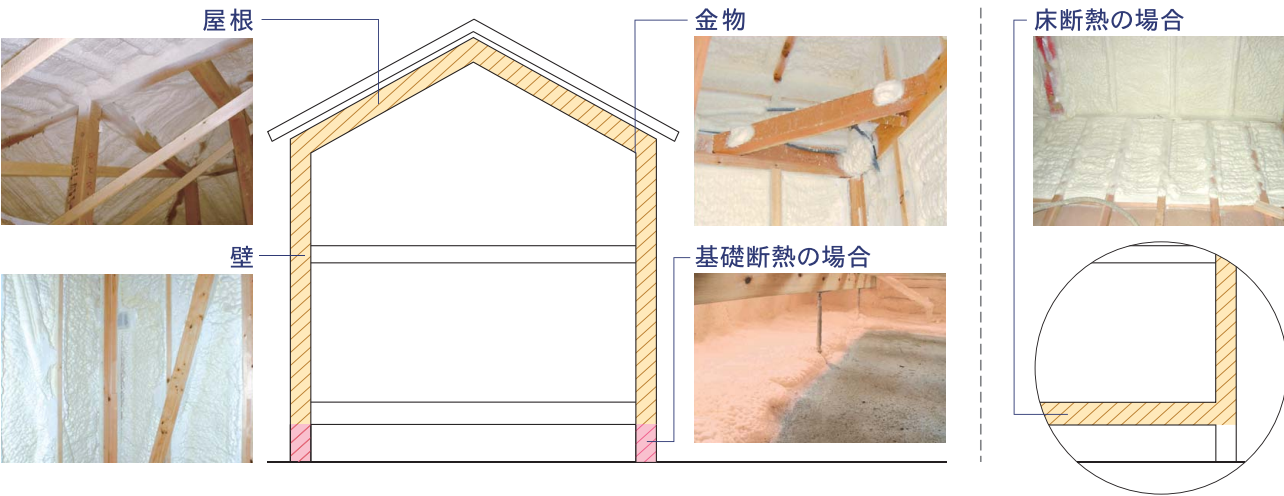


優れた吸音性能を数値が実証

アクアフォーム®の細かな連続気泡構造は、吸音性にも優れています。高い気密性により外部の騒音や内側からの生活音の漏れを軽減するとともに、アクアフォーム®の細かな気泡構造が音をスポンジ状のフォーム内に吸収します。



アクアフォーム®の施工



施工の流れ



建物仕様やご要望に応じて、さまざまなバリエーションをご用意			
木造建築に適したアクアフォーム®に加え、RC造などの建築物や施工箇所に合わせてさまざまな商品バリエーションを取り揃えています。			
	種 類		
JIS規格値	A種1	A種1H	B種
該当商品名	アクアAフォーム 環境に優しい公共RC物件に最適	アクアフォームNEO 環境特性の高いHFOを使用した 高性能住宅向け	アクアBフォーム より高性能で結露に強い 冷蔵倉庫向け



建築物省エネ法の基準にはもちろん、 認定低炭素住宅にもZEHにも適合可能

平成28年省エネ基準 地域区分5地域以南の外皮仕様例

屋根	アクアフォーム® (吹付け硬質ウレタンフォームA種 3)	170mm以上
外壁	アクアフォーム® (吹付け硬質ウレタンフォームA種 3)	80mm以上
床	A種押出法ポリスチレン3種	65mm
UB等基礎	アクアフォームNEO	45mm以上
開口部	建具: ガラス:低放射複層(日射取得型または遮蔽型)	U=3.49 η=0.64(0.40)

※120㎡モデルでの試算結果です。
※個々のプランで、外皮性能、一次エネルギー消費量の確認計算が必要です。

平成28年省エネ基準 地域区分5地域以南の外皮仕様例

屋根	アクアフォーム® (吹付け硬質ウレタンフォームA種 3)	250mm以上
外壁	アクアフォーム® (吹付け硬質ウレタンフォームA種 3)	85mm以上
床	A種押出法ポリスチレン3種	100mm以上
UB等基礎	A種押出法ポリスチレン3種	50mm
開口部	建具: ガラス:低放射複層(日射取得型または遮蔽型)	U=2.33 η=0.64(0.40)

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) 地域区分5地域以南の外皮仕様例

屋根	アクアフォーム® (吹付け硬質ウレタンフォームA種 3)	250mm以上
外壁	アクアフォーム® (吹付け硬質ウレタンフォームA種 3)	85mm以上
床	A種押出法ポリスチレン3種	100mm以上
UB等基礎	A種押出法ポリスチレン3種	50mm
開口部	建具: ガラス:低放射複層(日射取得型または遮蔽型)	U=2.33 η=0.64(0.40)

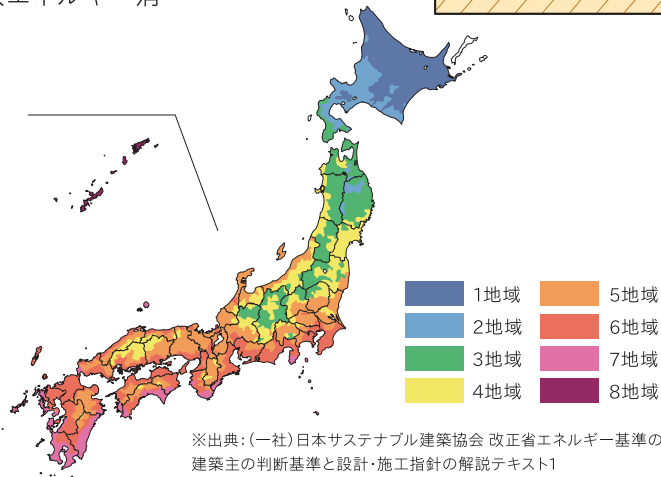
アクアフォーム®なら
自由設計による
断熱材の厚み
UPにも柔軟対応

平成28年省エネ基準

地域を8区分に分類して断熱性能の基準値を明確化。住宅の外壁や窓などの外皮性能を評価する基準と設備機器などの一次エネルギー消費量を評価する基準のふたつが用いられます。

◎地域区分と基準値

建築物省エネ法	外皮平均熱貫流率の基準値 U _A W/m ² ・K	冷房期の平均日射熱取得率 η _{AC}
1地域	0.46	—
2地域	0.46	—
3地域	0.56	—
4地域	0.75	—
5地域	0.87	3.0
6地域	0.87	2.8
7地域	0.87	2.7
8地域	—	3.2



◎外皮の省エネルギー性能

$$U_A \text{値 } W/m^2 \cdot K = \frac{\text{外皮熱損失量}}{\text{外皮等面積の合計}}$$
$$\eta_{AC} \text{値} = \frac{\text{冷房期の日射熱取得量}}{\text{外皮等面積の合計}} \times 100$$

(冷房期の平均日射熱取得率)

◎一次エネルギー消費量

$$\text{基準一次エネルギー消費量} \geq \text{設計一次エネルギー消費量}$$

外皮の断熱性能だけでなく、暖冷房や給湯などの設備機器も含めた、建物全体の省エネルギー性能が評価されます。

認定低炭素住宅

◎認定低炭素建築物の認定基準

定量的評価項目(必須項目)	+	選択的項目
● 外皮の断熱性能 ● 一次エネルギー消費量 (省エネルギー基準の一次エネルギー消費量-10%以上の省エネ性能)		● 低炭素化に資する措置を2項目以上講じること*

※ ● 節水に役立つ機器を設置している ● HEMSを設置している ● 住宅の劣化の軽減に資する措置を講じている ● 雨水、井戸水または雑排水の利用のための設備を設置している ● 一定のヒートアイランド対策を講じている ● 木造住宅もしくは木構造建築物 ● 再生可能エネルギーを利用した発電システムおよびそれと連携した定置型の蓄電池を設置 ● 高炉セメントまたはフライアッシュセメントの使用

日本アクアの サポート業務

省エネ基準義務化に
向けての計算業務
<有償>

1 省エネ計算書の作成

外皮平均熱貫流率、日射熱取得率などの外皮の熱性能と一次エネルギー消費量を算出いたします。

2 外皮面積算定根拠図の作成

住宅性能評価機関が審査時に必要な算出根拠図を作成いたします。

3 低燃費住宅報告書の作成

省エネ計算結果に基づき、消費者様向けに「低燃費住宅報告書」を作成いたします。